

## 令和4年度第1回小林市国民健康保険運営協議会 委員からの質問・意見・回答

### 報告1 会長及び会長代理の選任について

会長及び副会長は下記のとおり選任されました。

会長:高妻 賢士 委員      副会長:吉脇 辰男 委員

議題1	令和4年度国民健康保険税率について
結果	承諾されました。(承諾13、否0)
質疑1	議題1について資料4ページ 小林市の保険税1人当たりの調定額は、県内で西都市、高原町について3位だと記憶しています。その小林市でされ不足している状況で他の市町村はどの様にやり繰りしているのでしょうか。やはり一般会計からでしょうか。
回答1	現在、小林市の1人当たり調定額は県内で4位になっており、依然として上位にあります。一般会計からの法定外繰り入れはほとんどの市町村が行っておりません(元年度では県内2自治体のみ)。不足分は繰越金や基金の取り崩しで対応していると推測します。
意見2	議題1について資料2ページ こんなにもコロナの影響が長引くと、コロナ感染症の影響による収入が減少する人も多くなると思うので本当に大変だと思います。
回答2	様々な業種で影響があると思います。 国民健康保険に関しては、保険税の減免や傷病手当金の支給制度があり、防災ラジオやちらし等で周知をいたしました。

議題2	令和4年度小林市国民健康保険事業特別会計6月補正予算(案)について
結果	承諾されました。(承諾13、否0)
質疑3	議題2について資料5、6ページ 予算(案)減額せざるをえない部分をいうのが多いことは十分わかるのですが、大丈夫なのか心配です。
回答3	被保険者数の減少で、税収も減少する見込みです。今回は繰越金を充てますが、毎年、税率改定を検討しており健全な運営に努めていきます。

議題3	その他について
結果3	承諾されました。(承諾11、否1、無回答1)
お詫び	資料8ページ 委員氏名の誤記あり。差し替え分を送付しました。